

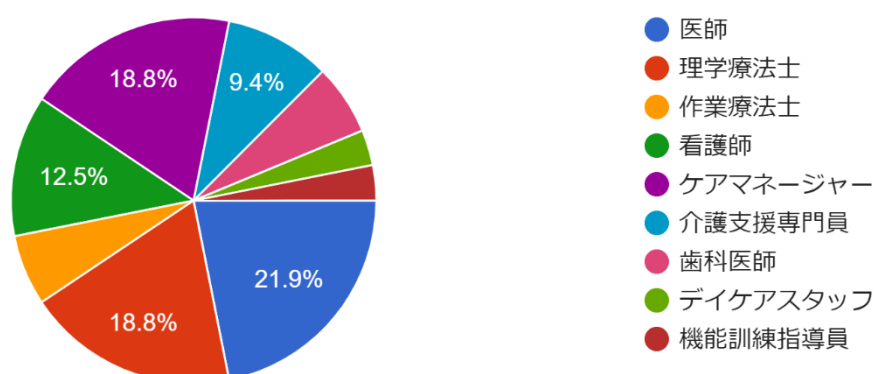
## 地域医療介護連携セミナー アンケート集計結果

2020年1月30日（土）16:00~18:00（オンライン開催）

参加者合計 68名

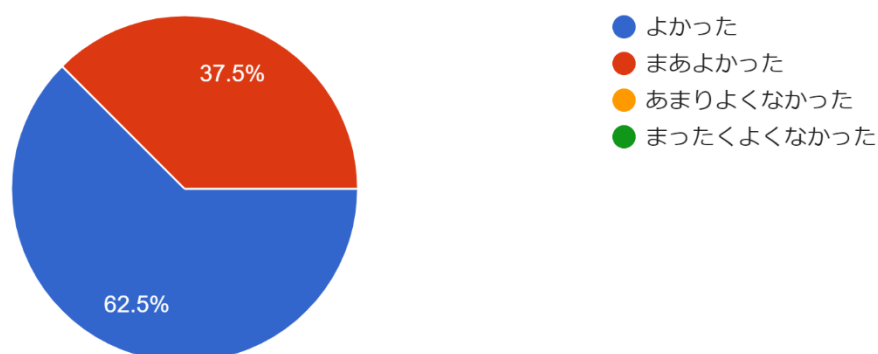
あなたの職種を教えてください。（兼任の場合は主な業種を1つ選択してください）

32件の回答



今回のセミナーの感想をお聞かせください。

32件の回答



感想や意見をお聞かせください。

- ・まだまだ介護領域の方々の本音、要望が聞けるような会にしたいと思います。
- ・他職種の慢性疼痛の取り組みの工夫が学習でき非常に参考になりました。
- ・医師だけでなく、他職種の医療者の方からお話を聞いて大変参考になりました。
- ・地域でのリハビリなどについてよくわかった
- ・分野は違いましたが、口腔顔面痛の勉強をしているので患者さんとのコミュニケーションの取り方、言葉の在り方などは大変勉強になりました。
- ・地域包括ケアシステム、介護保険の持続性の確保が叫ばれる中、いかに高齢者の方々に健康寿命を保っていただくかと頭を抱えております。本日は中塚先生をはじめ、諸先生方に有意義なお話を伺って大変参考になりました。ありがとうございました。
- ・医療と介護の連携が大事だと再度確認できました。
- ・心理社会的な面から疼痛を訴える方が多く、黒い言葉を聞く場面も多いです。返答が難しいと感じる事もあり岡山先生のお話は大変参考になりました。
- ・それぞれの具体的な取り組みがよくわかりました。
- ・公演数が多く、色々な話を聞いて良かったのですが、講演時間が短かったので公演数を減らしてもいいので各セッションの時間を長くしてほしいです。
- ・痛いから何もできない気持ちを共感し痛いけど少しできたに持っていけるよう気づかせ、言葉がけをし支援していきたい。そのためには本人の言うことをしっかり聞き取ることが大切だということがよくわかりました。多職種連携も大切だと改めて感じました。ありがとうございました。
- ・泉佐野市から参加させていただきました ケアマネージャーとして日頃から医療関係の先生方にはお世話になっております ズームでの参加は初めてだったので、コロナ禍において研修会等の開催も少ない中、本日の企画・開催をして下さったことに感謝しています 今後ご指導よろしく申し上げます
  - ・末期がんの利用者さま、また慢性疼痛をお持ちの方にとって、癒しの部分や理解者（医療と介護で関わる関係者や身近な周囲の方）がどのように接するか？によって、受け入れの拒否や、適な治療の拒否など人生の選択肢にまで影響してしまうことを教えていただきました。
- ・利用者、家族さん等、ケースの1人1人に丁寧な対応、先生の話で出ていた黒い意見（考え）に対応できるような相談支援ができればと思います。
- ・疼痛について第6のバイタルサインであることや、患者と一緒に運動や生活を作り上げることなど多くの学びがありました。なたでも患者との信頼関係の構築が最も大事であることも再認識させて頂きました。どこまで行っても一人一人を大事にする関わりをしていきたいと思いました。
- ・この度はとても有意義な講演をありがとうございました。
- ・中塚先生の話は参考になった。

- ・痛みの破局化についてきけて良かった。そこについてもっと詳しく知りたいと思った。
- ・疼痛について他職種の先生からの関わりや知識をお聞かせいただき参考になりました。
- ・痛みを持つ患者様への治療法や対応方法、又リハビリなども今まではこれでいいのかなあーと思っていた部分も理解することができました。
- ・少しの言葉・質問の仕方の違いで、痛みを持つ方の気持ちの方向を変えることができる事があるということを教えていただきました。
- ・忘れていた大切な事であり、初心に振り返り添ってまいりたいと思えました。ありがとうございました。
- ・いつもお世話になっております。どのテーマもとても分かりやすかったです。慢性疼痛は仕方ないもの、という見方しかできていなかったと気づきました。痛くても〇〇できた、という視点、ケアマネこそしつかり持っていないといけないな、ということと、どの職種の方もがとても粘り強く訴えに向き合っておられることがわかりました。
- ・セミナーありがとうございました。
- ・連携して治療にあたるチーム医療が行える体制が取られている事が良く分かった。痛みを苦しんでいる方にとって励みになると思います。
- ・メチコバルやユベラが、意外と効くということに驚いた。

#### 今後どんな企画を希望されますか。

- ・在宅医療、訪問看護師、ソーシャルワーカーさんの困っていることなど
- ・困難事例の解決など
- ・ケーススタディー
- ・記録ツール F-SOAP について
- ・投薬の選択をどのように行っているかや投薬に基づいたリハビリの注意点など
- ・本日の【痛み】についての講義は高齢者のほとんどの方々が日頃から抱えていらっしゃる問題で、たいへん参考になりました モニタリング等でも今後どのように接していけば良いかの指針となります 日頃、医療関係の先生方とあまり関わらせていただくことが少ないので、今後も今回のようなセミナーの企画をしてくださることを期待します
- ・在宅医療介護で、望む希望（余命の短い方）痛みのケアと癒しのケアの好事例など事例を検討できるような企画があればと思います。
- ・日々、患者さんにどのような経過的評価をされているか vas 以外で”
- ・痛みの破局化について詳しく知りたい。そのアプローチとして、認知行動療法などは時間がかかり通常診療ではつかいにくい気がするので、それ以外の方法などあれば知りたい。
- ・ALS など神経難病をかかえている患者様へのかかわり。
- ・症例報告もお願いしたいと思います。
- ・難病（小脳変性症）について勉強したい。

# このセミナーをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

32件の回答

